

令和3年度

クリーニング師試験問題

受験番号	
------	--

徳島県

衛生法規に関する知識

問1 次の文章は、クリーニング業法について述べたものです。

(①)から(⑩)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×10問)

- 1 クリーニング業法は、クリーニング業に対して(① ケ:公衆衛生)等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もってその経営を公共の福祉に適合させるとともに、(② エ:利用者)の利益の擁護を図ることを目的とする。
- 2 クリーニング業法で「クリーニング業」とは、(③ ク:溶剤)又は洗剤を使用して、衣類その他の繊維製品又は(④ キ:皮革製品)を原型のまま洗たくすることを営業とすることをいう。
- 3 クリーニング所を開設しようとする者は、(⑤ シ:厚生労働省令)の定めるところにより、クリーニング所の位置、構造設備及び従事者数並びにクリーニング師の氏名その他必要な事項をあらかじめ(⑥ タ:都道府県知事)に届け出なければならない。
- 4 営業者は、クリーニング所ごとに(⑦ セ:1人)以上の(⑧ ウ:クリーニング師)を置かなければならない。
- 5 都道府県知事は、営業者又はその使用人で、洗濯物の処理又は受取及び引渡しの業務に従事するものが(⑨ サ:伝染性の疾病)にかかり、その就業が公衆衛生上不相当と認めるときは、(⑩ テ:期間を定めて)その業務を停止することができる。

(語 群)

ア	生活衛生	イ	風邪	ウ	クリーニング師	エ	利用者
オ	金属製品	カ	漂白剤	キ	皮革製品	ク	溶剤
ケ	公衆衛生	コ	業務	サ	伝染性の疾病	シ	厚生労働省令
ス	業務従事者	セ	1人	ソ	厚生労働大臣	タ	都道府県知事
チ	従事者	ツ	2人	テ	期間を定めて	ト	条例

問2 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×10問)

- 1 (○) 洗濯が客のセルフサービスで行われるコインランドリーはクリーニング業ではない。
- 2 (×) 営業者は、クリーニング師でなければならない。
- 3 (○) 感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、発熱や下痢、咳等の症状が出ることである。
- 4 (○) クリーニング師は、免許証を免許を与えた都道府県知事に返納することによって登録の抹消を申請することができる。
- 5 (×) 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗濯物の処理を行い、又は行わせることができる。
- 6 (○) 営業者に引き渡される前に消毒されていない「手ぬぐい」及び「タオル」については、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるため、洗濯の前に消毒する必要がある。
- 7 (○) 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、脱水機の効用をも有する洗たく機を備える場合は、脱水機は備えなくてもよい。
- 8 (○) 着物の洗い張りは、クリーニング業に該当しない。
- 9 (○) 感染症の分類には指定感染症の他に一類～五類感染症があるが、一類感染症より五類感染症の方が感染力等に基づく観点から見た危険性が低い。
- 10 (×) クリーニング所における衛生管理要領において、クリーニング所の受渡し場、しみ抜き場及び仕上げ場の作業面の照度は、100 Lux以上であることが望ましいとされている。

問3 次の文章は、クリーニング業法施行規則について述べたものです。

(①)から(⑤)内の正しい語句を選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 営業者に引き渡される前に消毒されていない(① ア: 自宅で使用した着衣
イ: 旅館で使用したタオル)については、伝染性の疾病の病原体による汚染のおそれがあるため、洗濯の前に消毒する必要がある。
- 2 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、(② ア: 5日 イ:
10日)以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- 3 クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、業務に従事した後(③
ア: 1年 イ: 3年)以内に都道府県知事が指定した研修を受けるものとし、その後は、(④ ア: 1年 イ: 3年)を超えない期間ごとに研修を受けるものとする。
- 4 (⑤ ア: 環境衛生監視員 イ: 環境衛生指導員)は、クリーニング所に立ち入り、営業者の衛生措置等の実施状況を検査することができる。

公衆衛生に関する知識

問1 次の文章は、健康及び公衆衛生について述べたものです。

(①)から(⑩)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×10問)

1 WHO憲章では、「健康とは、肉体的、精神的及び(① オ:社会的)に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は虚弱でないということではない。及ぶ限り最高の(② キ:健康水準)を享受することは、(③ チ:人種)、宗教、政治的信条、経済状態のいかんを問わず、すべての人間の(④ ト:基本的権利)である。」と定義されている。

2 また、ウインスローの定義では、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の予防、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の早期診断と治療のための医療と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、健康保持のための適切な生活水準を保障する社会制度の発展のために、共同社会の(⑤ イ:組織的)な努力を通じて、疾病を予防し、(⑥ サ:寿命)を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、(⑦ ス:技術)である。」とされている。

3 我が国においても、憲法第25条により「すべて国民は、健康で(⑧ ウ:文化的)な(⑨ コ:最低限度)の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び(⑩ ソ:公衆衛生)の向上及び増進に努めなければならない。」とされている。

(語 群)

ア 継続的	イ 組織的	ウ 文化的	エ 衛生的
オ 社会的	カ 経済的	キ 健康水準	ク 最高水準
ケ 生活水準	コ 最低限度	サ 寿命	シ 制度
ス 技術	セ 事業	ソ 公衆衛生	タ 公共の福祉
チ 人種	ツ 性別	テ 絶対的権利	ト 基本的権利

問2 次の文章は、ノロウイルスに係る吐ぶつやふん便が布団などのリネン類に付着した場合の処理について述べたものです。(①)から(⑤)内の正しい語句を選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 付着した汚物中のウイルスが飛び散らないようにペーパータオルなどでできるだけ吐ぶつを取り除き、(① ア:洗剤 イ:アルコール)を入れた水の中で(② ア:激しく イ:静かに)もみ洗う。
- 2 下洗したリネン類の消毒は、85℃・(③ ア:1 イ:5)分間以上又は、80℃・10分間以上の熱水洗濯が適している。
- 3 熱水洗濯を行える洗濯機がない場合は、(④ ア:次亜塩素酸ナトリウム イ:過酸化水素)の消毒が有効である。
- 4 洗濯後、十分すぎ、(⑤ ア:低温 イ:高温)の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まる。

問3 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 (○) 昭和57年11月16日付け環指第157号「おしぼりの衛生的処理等に関する指導基準」において、製品として貸与されるおしぼりの衛生基準は、「変色及び異臭がないこと」、「大腸菌群及び黄色ブドウ球菌が検出されないこと」、「一般細菌数は、一枚当たり10万個を超えないことが望ましいこと」とされている。
- 2 (×) 滅菌とは、病原体を物理的又は化学的方法により死滅させ、あるいは感染量に達しない程度まで大幅に減少させることである。
- 3 (○) VOCとは、揮発性を有し、大気中で気体状となる有機化合物の総称で、光化学スモッグを発生させる原因物質であり、ドライクリーニングに使用するテトラクロロエチレンなどが該当する。
- 4 (×) クリーニング所は、水質汚濁防止法の特定施設ではないため、同法にかかる自治体への届出などは必要ない。
- 5 (○) 標準営業約款制度(Sマーク制度)は、消費者の利益擁護の観点から、消費者の店舗選択の利便を図ることを目的として創設された制度であり、クリーニング所も登録の対象となっている。

問4 次の文章は、保健所の役割について述べたものです。(①)から(⑤)
にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入して
ください。(4点×5問)

- 1 保健所は、(① ア:疾病)の予防、健康増進、環境衛生など(② エ:公衆
衛生)活動の中心的機関として、地域住民の(③ イ:生活)と健康に極めて
重要な役割をもっている。
- 2 また、平成6年に制定された(④ オ:地域保護法)において、保健所に関
する規定が整備され、(⑤ ケ:都道府県)が設置する保健所を地域保健の
広域的・専門的・技術的拠点として、機能が強化された。

(語 群)

ア 疾病	イ 生活	ウ 保養	エ 公衆衛生	オ 地域保健法
カ 愛護	キ 社会	ク 国	ケ 都道府県	コ 安全衛生法

問3 次の文章の(①)から(⑤)にあてはまる適切な語句を、それぞれ1つ選び、その記号を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 シミ抜きは、油性処理、水溶性処理、(① カ:酸素)処理、酸化漂白処理、還元漂白処理の順に処理を進める。
- 2 毛皮の特徴として、湿度に弱いことと(② ウ:虫)が付きやすいことが挙げられる。そのため、(③ エ:パウダー)クリーニングをする。
- 3 界面活性剤には、アニオン系、(④ コ:カチオン)系、ノニオン系、両性イオンがあり、アニオン系とノニオン系を併用することは差し支えない。
- 4 柔軟剤は自己乳化型の(④ コ:カチオン)界面活性剤が成分で、これが繊維に吸着することで静電気を抑え、衣服を柔らかくふっくらした感触に仕上げる。
- 5 クリーニングの仕上げに必要な条件は、(⑤ キ:湿気)・熱・圧力の3つである。

(語 群)

ア 酸素	イ 油	ウ 虫	エ パウダー
オ ケイオン	カ 酵素	キ 湿気	ク ウェット
ケ 換気	コ カチオン		

問4 次の記述について、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×5問)

- 1 (×) 汚れの種類は、大別すると、水溶性汚れ、油性汚れ、不溶性汚れ、特殊な汚れの4種類に大別でき、油性のシミは、霧吹きで霧をかけると、生地よりもシミのほうが水分を早く吸収する。
- 2 (×) ランドリーは、平成28年12月1日から適用された新JISで、「特殊な技術を用いた業者による繊維製品の水洗い処理」と定義されている。
- 3 (×) 予洗は、繊維、汚れ、糊などを膨潤させ、汚れを取りやすくする効果があり、全ての洗濯において、本洗いに必ず行う必要がある。
- 4 (○) 綿のアイロン温度は、180～200℃が標準的な仕上げ温度である。
- 5 (×) ランドリーで主に使用される漂白剤は、次亜塩素酸ナトリウムと過炭酸ナトリウムであり、この内、次亜塩素酸ナトリウムは、高温で漂白効果がある。

問5 平成28年12月1日から適用されることとなった、衣料品の取扱い表示と、その説明の組み合わせについて、正しいものには○印を、誤っているものには×印を解答欄に記入してください。(4点×5問)

1 (×)  液温は40℃を限度とし、洗濯機で通常の洗濯処理ができる。

2 (×)  漂白処理はできない。

3 (○)  つり干し乾燥がよい。

4 (○)  底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げ処理ができる。

5 (○)  ドライクリーニング処理ができない。

繊維の鑑別試験(答)

令和3年度クリーニング師試験

令和4年2月8日

受 験 番 号	
---------	--

(問 題)

番号の付いた7枚の白い布があります。下に挙げた繊維はどれですか。
目で見たり、手で触ったりして鑑別して、番号で教えてください。

絹	2
ポリエステル	5
ウール	7
レーヨン	6
麻	4
ナイロン	1
綿	3